

2017年3月23日

株式会社日本医療データセンター

**InsTech オープンイノベーションビジネスコンテストにおいて、
株式会社日本医療データセンターが最優秀賞を受賞**

ノーリツ鋼機株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：西本 博嗣）のグループ子会社である株式会社日本医療データセンター（本社：東京都港区、代表取締役社長：上沢 仁）は、2017年3月22日、第一生命保険株式会社、株式会社かんぽ生命保険と株式会社 NTT データの主催するビジネスコンテスト「InsTech オープンイノベーションビジネスコンテスト」において最優秀賞を受賞しました。

**最優秀賞（株式会社日本医療データセンター）
「健康年齢^{※1}とかざし OCR を活用した健康増進サービス」**

OCR 技術を活用して健康診断結果をデータ化し、健康度を分かりやすく示すという提案に対して、生命保険事業との親和性が高いとご評価いただき、最優秀賞をいただきました。また、健康診断結果はさまざまな帳票パターンがあり、データ化が困難である、というこれまでの課題に対し、健康診断結果の様式を問わずに OCR 解析ができる、という技術に関してもご評価をいただきました。

※1 健康年齢について

健康年齢は、ご自身の健康状態を分かりやすく理解するための指標です。健康診断の結果を使い、あなたカラダは何歳相当なのかを統計的に判定します。この統計モデルは 160 万人分の健診データと医療費をもとに開発された信頼性の高いモデルであり、健康診断や人間ドッグの結果通知や生命保険の料率計算など、様々な場面で利用されています。

<https://kenko-nenrei.jp/>

株式会社日本医療データセンター

業界のパイオニアとして 2002 年に設立。独自の匿名化処理技術とデータ分析集計技術を有する。1 億 6,000 万件以上のレセプトデータと 1,000 万件以上の健診データ（2017 年 2 月時点）の分析に基づく保険者の保健事業支援、医薬品の安全性評価や医療経済分析などの情報サービスを展開している。また、健康度の単一指標（健康年齢）や健康増進を目的とした Web サービス（PepUp）など、医療データと解析力で健康社会の実現に取り組んでいる。